

OS式減震防振装置

通常時は防振、地震時は減震

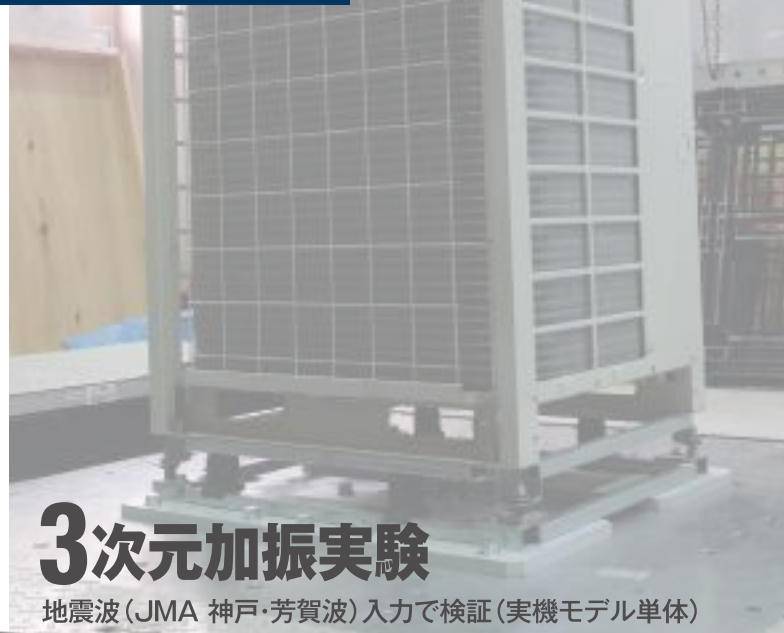
【PAT】



“genshin” coherent technology
for vibration control

■ 特長

- 大地震に備えた事業継続計画 (BCP) をサポート
- 通常時は安定した防振性能を発揮
- 地震時は震度7クラスの地震力を震度5へ低減し機器の破損を軽減
- 国土交通省監修
「建築設備耐震設計・施工指針」に準拠

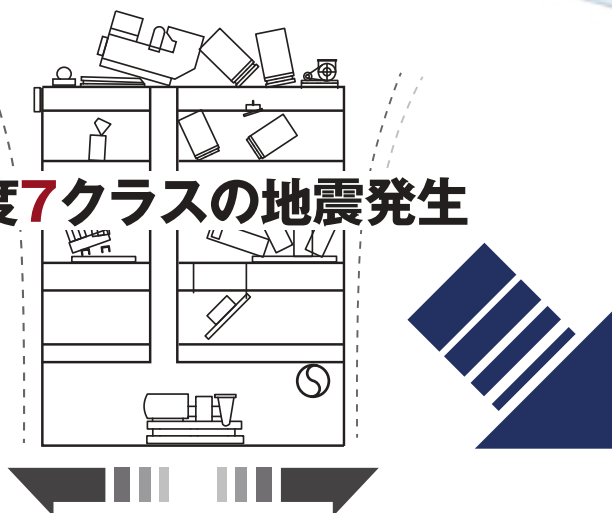


3次元加振実験

地震波 (JMA 神戸・芳賀波) 入力で検証 (実機モデル単体)

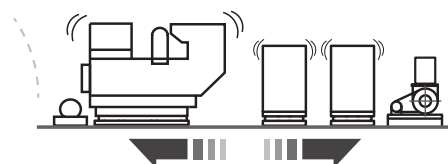


震度7クラスの地震発生



減震対策効果

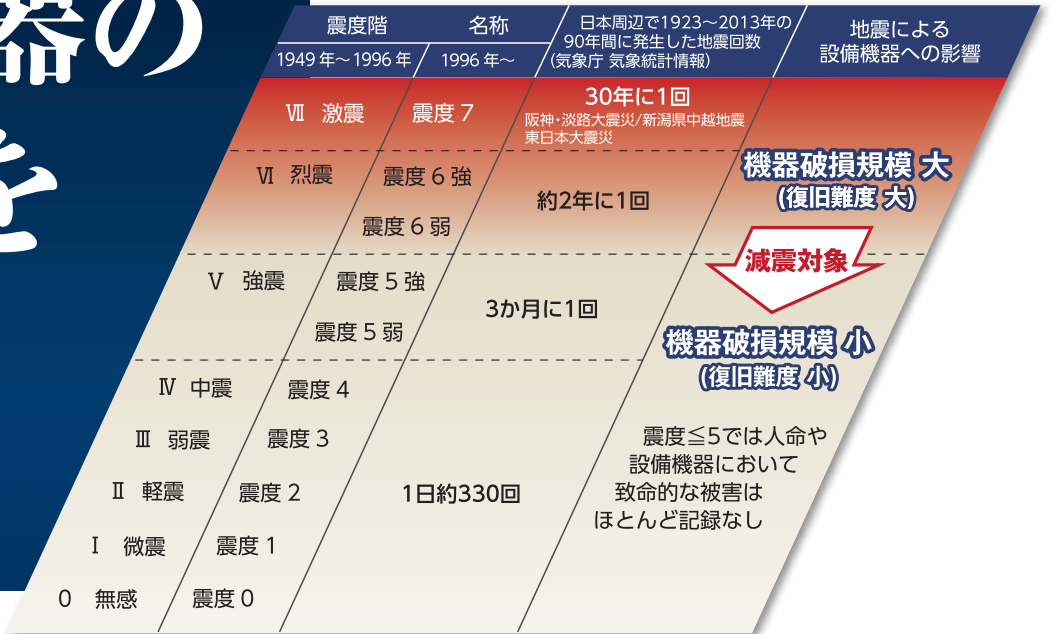
設備機器への影響を
震度5クラスに低減 (早期復旧)



- * 従来のOS式防振装置とは取り合い寸法など変更はありません。
- * 機器の質量、重心位置から吸振体の配置を行っております。
オプションの防雪フード等を装着される場合や設置状況によっては調整が必要になります。
- * 本カタログ中の減震に関する表記は当社が指定した特定の実験環境下で確認したものであり、今後発生する地震震度階に対して保証するものではありません。

設備機器の 破損を 軽減

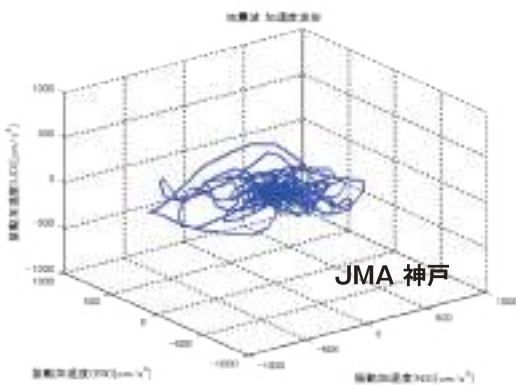
震度5強までの地震被害は少ない。
震度6~7の被害を震度5へ
低減するのが減震です。



参考文献：気象庁震度階

■ 地震の複雑な動き

水平方向X、Y・鉛直方向、最大加速度
3成分合成



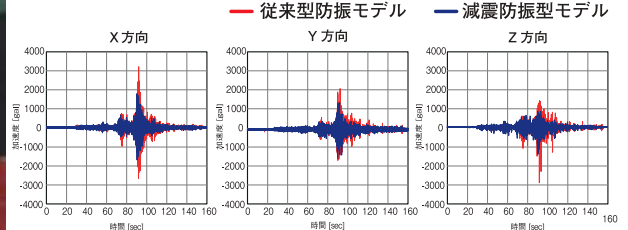
■ 3次元加振実験：減震効果の検証

入力地震波：

栃木県 kik-net 芳賀波 80% (東北地方太平洋沖地震 2011年3月11日)



● 防振架上 加速度



加振力 (cm/s ²)	X方向	Y方向	Z方向
従来型防振モデル	3.2G	2.2G	3.1G
減震防振型モデル	1.8G	1.5G	1.5G

設備機器の損壊規模を震度7クラスから震度5へ低減

※減震効果は対象機、設置環境、地震の規模により異なります。 ※対象機により減震の方式は異なります。

※実験は設定条件下で行われております。設置環境や形状が異なる全ての地震に対して性能を保証するものではありません。

減震防振装置 納入事例

■ 学校法人 中央大学附属横浜中学校・高等学校 様 (神奈川県)



■ 医療法人 川崎病院 様 (兵庫県)



複写・転載を禁止します

このカタログは2019年12月現在のものです。製品の改良にともない一部仕様を変更することがあります。



TOKKYOKIKI

Vibration Control Technology
特許機器株式会社

東京営業課 〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-5-15 TEL (03) 6831-0001 (代)
 関西営業課 〒660-0833 兵庫県尼崎市南初島町 10-133 TEL (06) 6487-3202 (代)
 中部営業課 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 2-10-133 TEL (052) 220-0888 (代)
 九州営業課 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-8 TEL (092) 474-2773 (代)
 本社・工場 〒660-0833 兵庫県尼崎市南初島町 10-133 TEL (06) 6487-3939 (代)

快適で最適な環境づくりのご相談は、豊富な経験・実績で信頼できる特許機器へ

<http://www.tokkyokiki.co.jp>

Cat No.19.12.02